

2023年8月15日

最近の長野県経済の動向 (月例調査)

概要

全国景気*	緩やかに回復している
長野県内景気	持ち直しの動きに弱さがみられる
5月の生産動向	生産は足踏みがみられる
6月の個人消費	乗用車新車販売は6カ月連続で前年を上回る
6月の公共投資	公共工事保証請負額は2カ月ぶりに前年を上回る
6月の住宅投資	新設住宅着工戸数は3カ月連続で前年を下回る
6月の雇用情勢	有効求人倍率は3カ月連続で前月を下回る

今後は、個人消費に影響を与える実質賃金の伸びがプラスに転じ、プラスのまま推移していくかどうか注視する必要がある。

※内閣府「月例経済報告(2023年7月)」より

照会先

一般財団法人 長野経済研究所 調査部

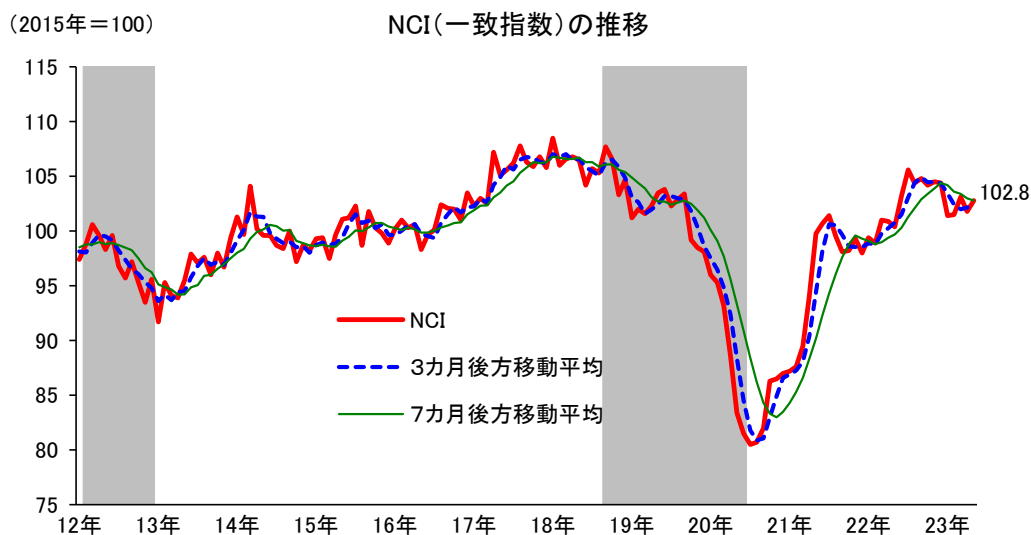
担当 桑井、伊東

電話 026-224-0501

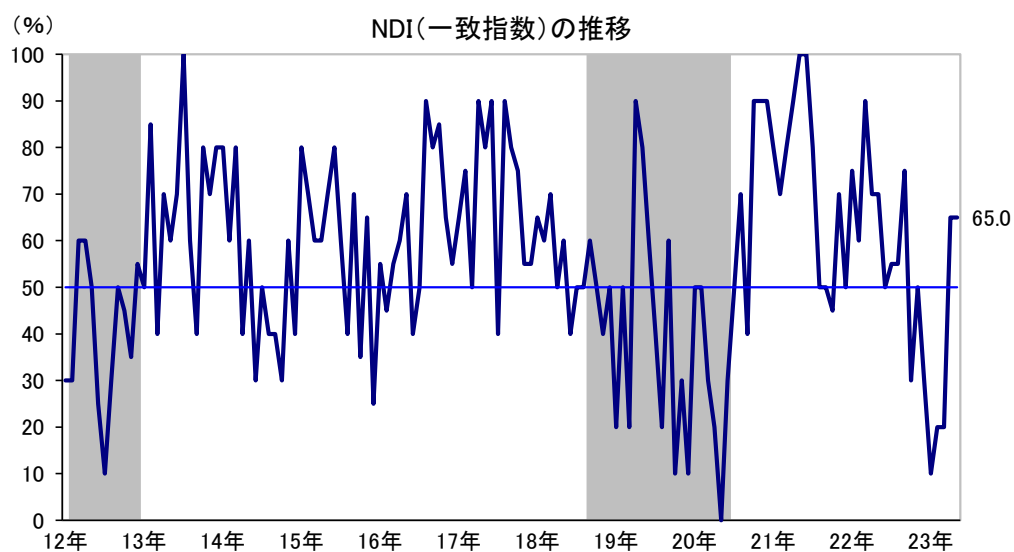


景気動向指数

- 5月のNCI(一致指数)は、102.8と前月と比較し+1.0ポイントとなった。3カ月後方移動平均は同+0.4ポイントと2月連続で上昇し、7カ月後方移動平均は同△0.2ポイントと5カ月連続で低下した。NCI(一致指数)は、改善を示している。
- NDI(一致指数)は、65.0%となり、景気判断の分かれ目である50.0%を2カ月連続で上回った。



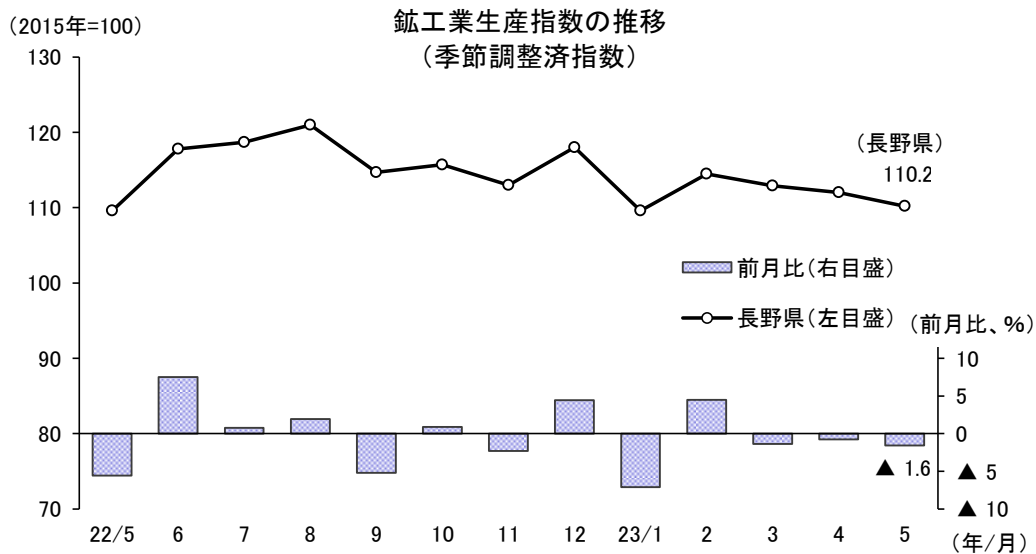
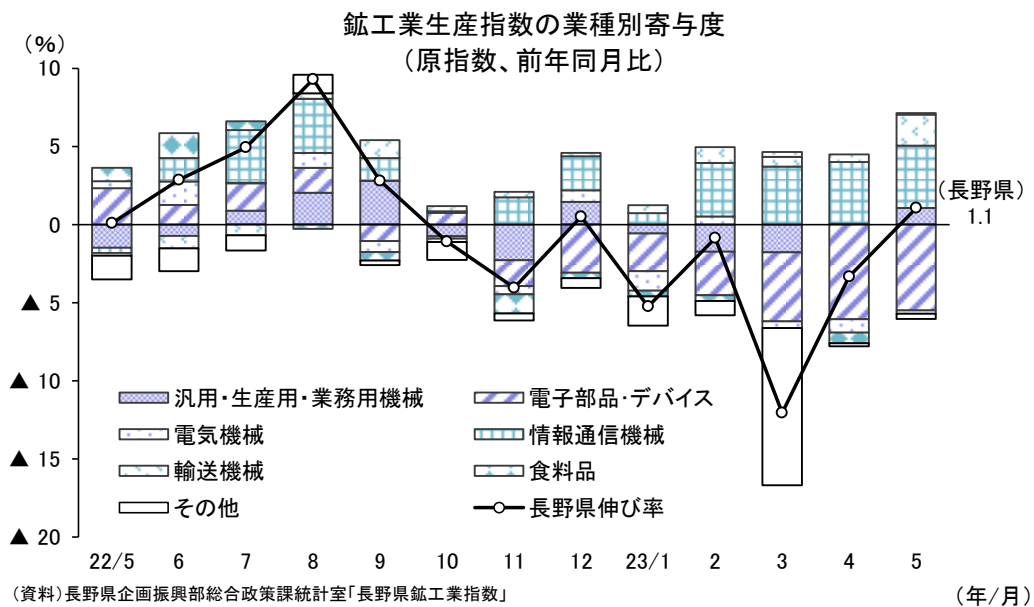
(資料)当研究所「長野県景気動向指数」
 注1.NCIは長野県の景気変動の大きさやテンポ(量感)を示す
 注2.シャド一部分は長野県の景気後退期を示す



(資料)当研究所「長野県景気動向指数」
 注1.NDIは長野県の景気の方角、波及度合いを示す
 注2.シャド一部分は長野県の景気後退期を示す

生産は足踏みがみられる

- 5月の鉱工業生産指数は、原指数が前年同月比+1.1%、季節調整済指数が前月比△1.6%となった。
- 原指数は5カ月ぶりに前年を上回ったものの、季節調整済指数は3カ月連続で前月を下回った。内需は堅調に推移しているものの、外需の縮小がみられ、生産は足踏みがみられる。
- 主要業種別にみると、「汎用・生産用・業務用機械」、「情報通信機械」、「輸送機械」などが前年を上回ったものの、「電子部品・デバイス」、「電気機械」などが前年を下回った。

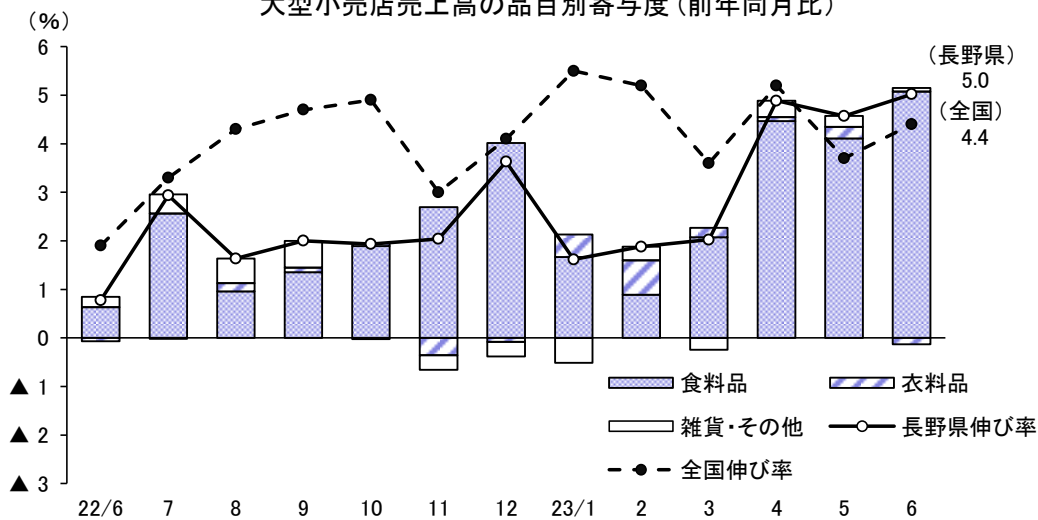


個人消費

乗用車新車販売は6カ月連続で前年を上回る

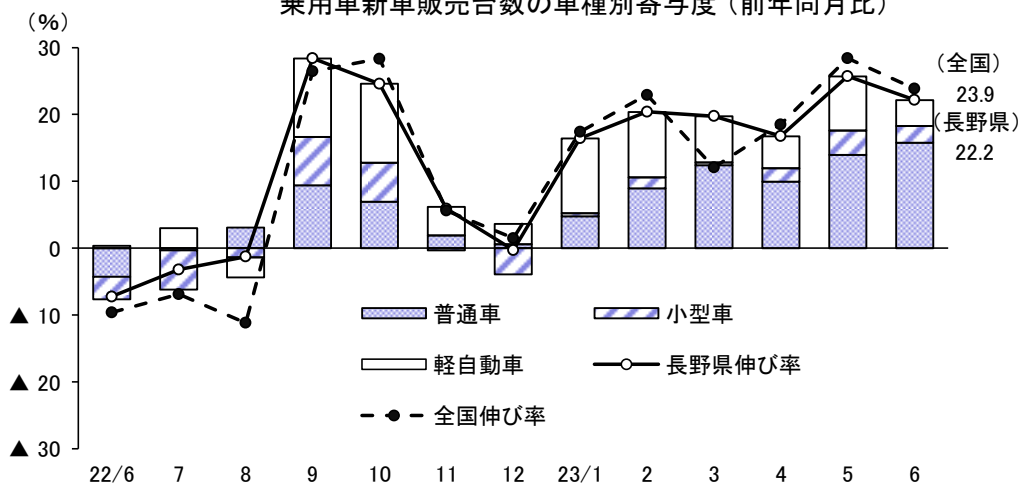
- 6月の大型小売店売上高は、前年同月比+5.0%（売場面積調整前）となり、21カ月連続で前年を上回った。食料品は、総菜や飲料などの売り上げが増加したほか販売価格の上昇などもあり、同+6.0%となった。衣料品は、クリアランスセールの出足が鈍く、同△2.5%だった。雑貨・その他は、化粧品などが堅調で、同+0.8%となった。
- 6月の乗用車新車販売は、半導体不足等に伴う納車遅れが徐々に改善し、前年同月比+22.2%と6カ月連続で前年を上回った。車種別にみると、軽自動車は同+8.4%と10カ月連続で、普通車は同+49.6%と11カ月連続で、小型車は同+11.4%と6カ月連続で前年を上回った。

大型小売店売上高の品目別寄与度（前年同月比）



（資料）当研究所「長野県内大型小売店売上高の動向」、経済産業省「商業動態統計」
 （注）全国伸び率：23年6月分は速報値

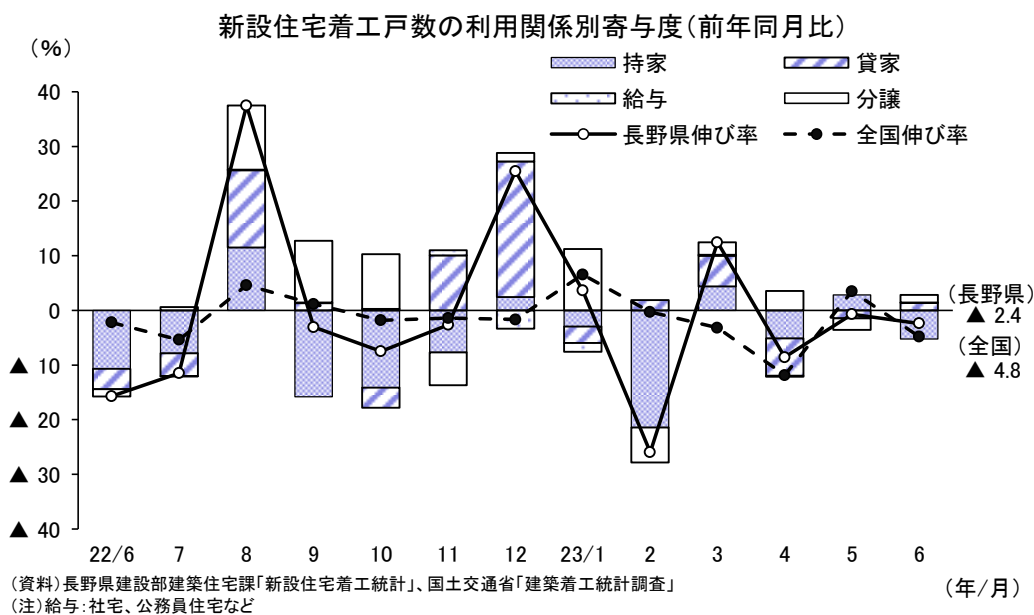
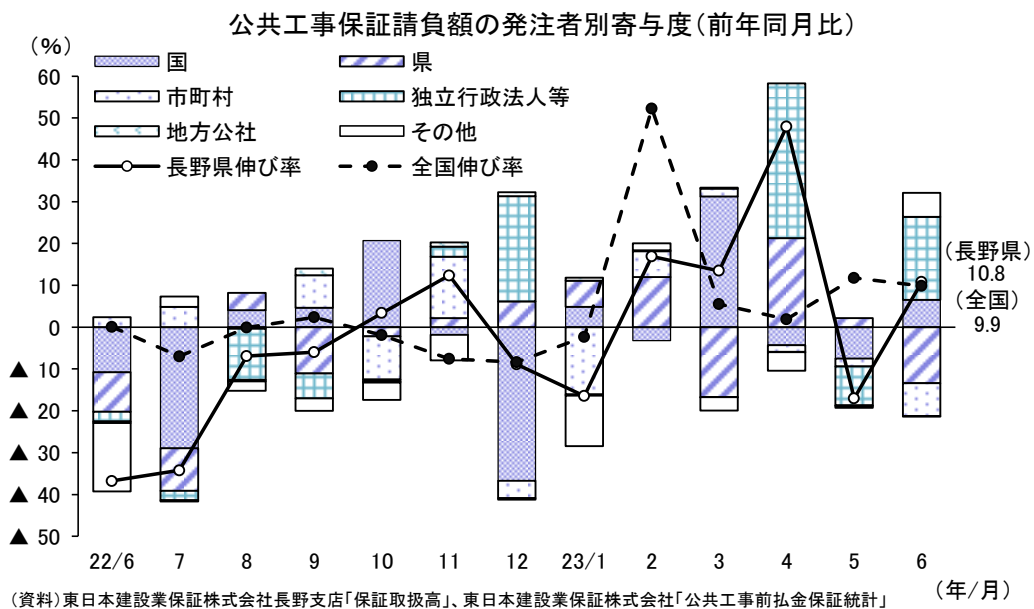
乗用車新車販売台数の車種別寄与度（前年同月比）



（資料）北陸信越運輸局長野運輸支局「長野県における新車新規登録台数（検査・届出）台数」、
 一般社団法人日本自動車販売協会連合会「車種別販売台数」、
 一般社団法人全国軽自動車協会連合会「軽四輪車新車販売台数確報」
 （注）普通車：3ナンバー車、小型車・軽自動車：5ナンバー車

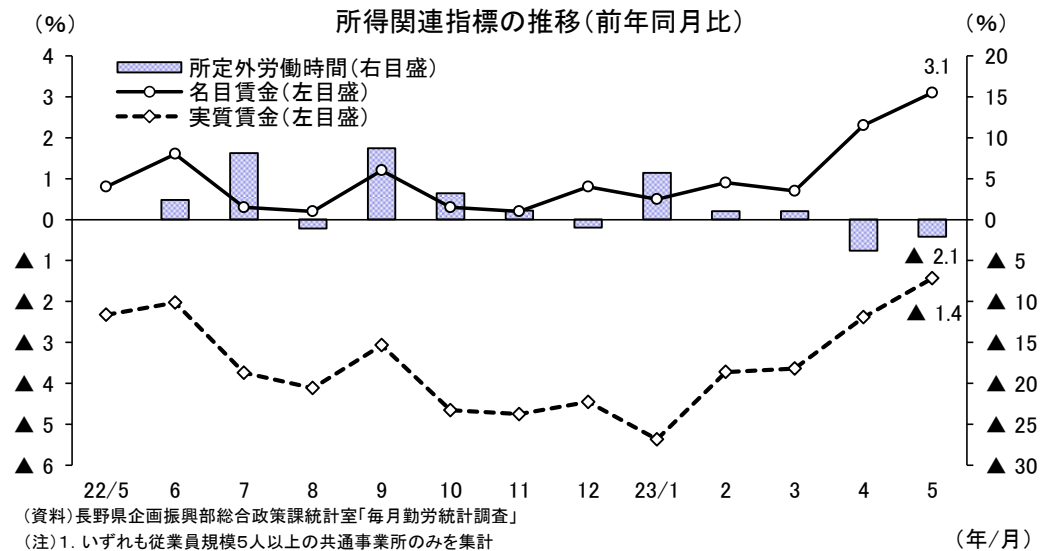
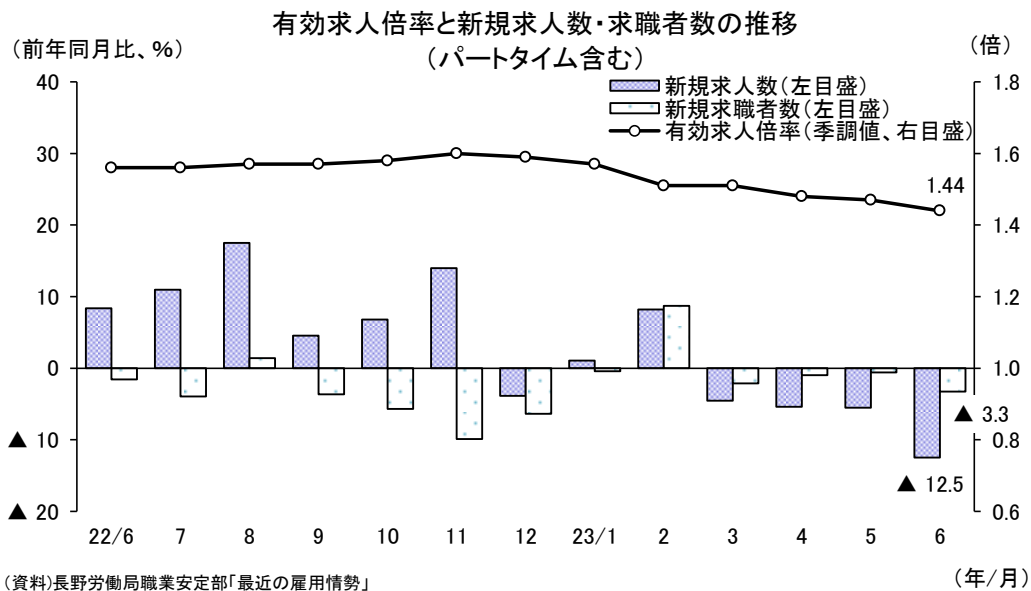
公共工事保証請負額は2カ月ぶりに前年を上回る

- 6月の公共工事保証請負額は、前年同月比+10.8%の242億5,300万円となり、2カ月ぶりに前年を上回った。発注者別にみると、県が同△54.4%、市町村が同△20.7%、地方公社が同△29.4%と減少したものの、国が同+21.4%、独立行政法人等が同+401.2%、その他が同+355.1%と増加した。
- 6月の新設住宅着工戸数は、前年同月比△2.4%の1,061戸と3カ月連続で前年を下回った。利用関係別にみると、貸家が同+4.5%、分譲が同+13.5%と増加したものの、持家が同△8.9%と減少した。



有効求人倍率は3カ月連続で前月を下回る

- ・6月の有効求人倍率は、前月比△0.03ポイントの1.44倍と、3カ月連続で前月を下回った。
- ・新規求人数(全数)は前年同月比△12.5%となり、4カ月連続で前年を下回った。このうち常用は同△9.3%、パートは同△13.1%となった。主要産業別では、医療・福祉が同+3.0%、情報通信業が同+9.6%、金融業・保険業が同+4.4%と前年を上回ったものの、製造業が同△24.5%、宿泊業・飲食サービス業が同△12.5%、建設業が同△7.0%などと、多くの産業が前年を下回った。
- ・新規求職者数(全数)は、前年同月比△3.3%と4カ月連続で前年を下回った。
- ・5月の名目賃金は前年同月比+3.1%と25カ月連続で前年を上回ったが、実質賃金は同△1.4%と17カ月連続で前年を下回った。所定外労働時間は同△2.1%と、2カ月連続で前年を下回った。



県内地域別・近隣都県別有効求人倍率

有効求人倍率は33カ月連続で全国を上回る

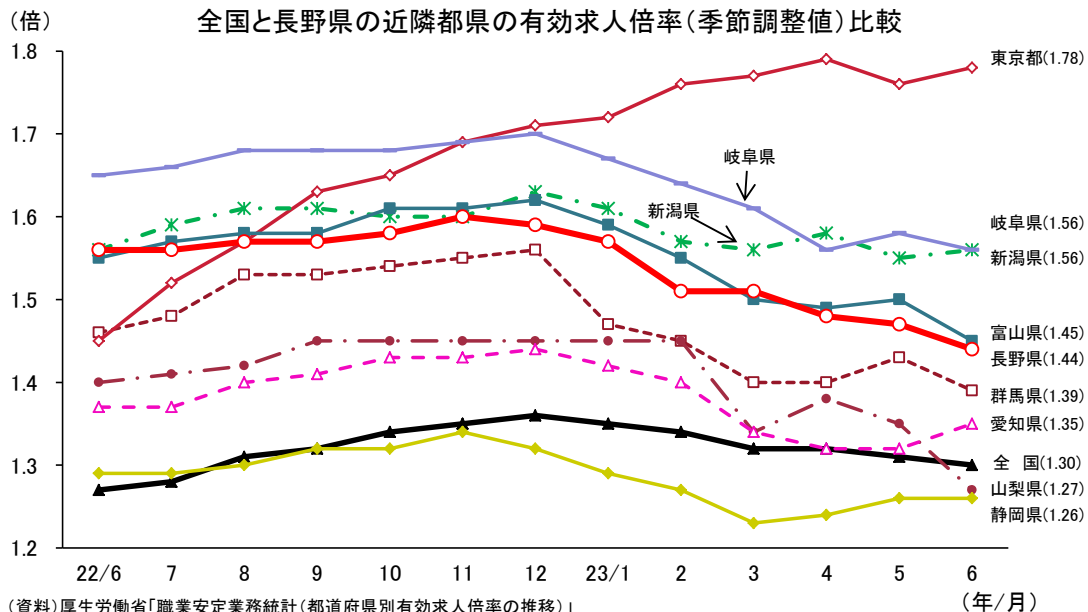
- ・6月の地域別有効求人倍率(全数)は、北信が前年同月比△0.11ポイントの1.32倍、東信が同△0.20ポイントの1.34倍、中信が同△0.02ポイントの1.44倍、南信が同△0.13ポイントの1.36倍となった。
- ・職業安定所別有効求人倍率(全数)は、飯田が1.56倍と最も高く、次いで木曾福島が1.49倍となった。
- ・長野県の有効求人倍率は33カ月連続で全国を上回ったが、順位は前月より1つ下げ12位となった。

長野県職業安定所別有効求人倍率(実数値)(23年6月)

地域	北 信(1.32) (前年同月比▲0.11)				東 信(1.34) (前年同月比▲0.20)		中 信(1.44) (前年同月比▲0.02)			南 信(1.36) (前年同月比▲0.13)		
	長野	篠ノ井	飯山	須坂	上田	佐久	松本	木曾福島	大町	飯田	伊那	諏訪
全 数	1.36	1.17	1.46	1.32	1.28	1.41	1.45	1.49	1.32	1.56	1.28	1.30
前年同月比 (ポイント)	▲ 0.09	▲ 0.24	0.08	▲ 0.11	▲ 0.15	▲ 0.25	▲ 0.03	0.02	0.06	0.10	▲ 0.15	▲ 0.25
うち常用	1.22	1.13	1.40	1.20	1.20	1.37	1.24	1.39	1.19	1.48	1.13	1.22
前年同月比 (ポイント)	▲ 0.06	▲ 0.22	0.05	▲ 0.16	▲ 0.11	▲ 0.20	0.01	0.02	▲ 0.04	0.09	▲ 0.11	▲ 0.25

(資料)長野労働局職業安定部「最近の雇用情勢」

(注)実数値とは、新規学卒を除きパートタイムを含む季節調整前の原数値



(資料)厚生労働省「職業安定業務統計(都道府県別有効求人倍率の推移)」

(注)1. 新規学卒を除きパートタイムを含む

2. 長野県の近隣都県及び、経済規模、産業構造が類似している県